

温暖化対策としての省エネをすすめています

燃料改善器具Eオイラー
装着配送車両(2011年予定)

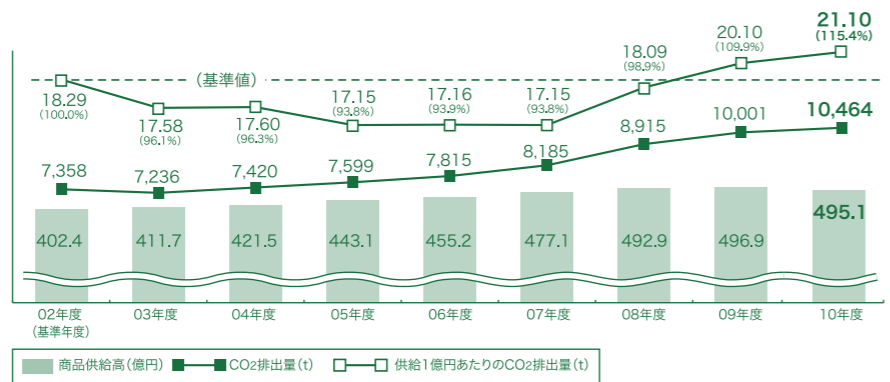
462台



★Eオイラー：磁場力で燃料油の分子を小さく分解して燃えやすくする器具。燃料ホースに取り付ける事でエンジンの燃焼効率が良くなり10%ほど燃費が向上します。

CO₂ 排出量の削減のため
パルコープ全部門で
継続した取り組みを
行っています

パルコープでは、全国の生協とともに04年度から「CO₂排出量削減に向けた自主計画」を策定し進めてきました。2010年度パルコープ全体のCO₂の排出量は約10,464tでした。これは杉の木が1年間に吸収するCO₂で換算すると74万7千本に相当します。多くのCO₂を排出する事業者の社会的責任として、これからも削減の取り組みを積極的に進めていきます



供給1億円当りのCO₂排出量削減(原単位)が目標。2010年度は目標を達成できませんでした。個配や店舗事業の伸張、猛暑等の異常気象の影響が考えられます。今後、総量削減へ向けた取り組みを進めます。

■支所での取り組み

- 1) 配送車両の燃料使用削減のために、2010年度内に一部(150台予定)Eオイラーを導入しました。2011年度内には全車両**462台**に取り付ける予定です。
- 2) CO₂排出量を削減していくために、配送コース改善に継続して取り組んでいます。おろし間違いを減らし、走行距離の削減につなげています。
- 3) 2011年度内には2つの支所をひとつに集約する予定です。統合による効率化を行い、設備は省エネタイプ仕様を中心に検討を進めています。

■店舗での取り組みについて

- 1) 枚方公園店には電力監視システム(デマンド警報機)を試験的に導入。電力を使いすぎると警報が鳴るようになっています。目には見えない電力を認識することで、電力消費量の削減につなげています。今後、他店への導入を検討します。
- 2) 環境省の呼びかけに応じて「ライトダウンキャンペーン」(6月21日と7月7日)にパルコープ全8店で参加しました。



■地道な省エネ活動を通じて

- 1) 共同購入の支所や本部、物流センターの施設では、作業の効率化で夜間作業の短縮。光熱費の減少など、小さな積み重ねを日々続けています。
- 2) 蛍光灯の間引きを行いました。作業環境を確認しながら全事業所で970本、年間約2,036kwh(一般家庭約7ヵ月分)の電力使用量の削減につながります。





3Rで資源の有効活用をすすめています! ～リサイクル活動にご協力ください～



2010年 商品案内の
回収率は68%(3,116トン)でした

パルコープでは事業と組織が一体となって3R(リデュース、リユース、リサイクル)に積極的に取り組んでいます。《リデュース(使用量削減)》「ノン包装・トレイ」や包装の簡素化、レジ袋の使用削減《リユース》「産直野菜ボックス」や「紀ノ川野菜だより」の箱をくり返し使用《リサイクル》商品案内や牛乳パックなどを回収し、再生利用
◎2010年度、マイバッグの持参率は89.2%(前年88.7%)となり、レジ袋はおおよそ505万枚削減されました。ドラム缶(200L)換算で144缶の原油節約になります。

■2010年度リサイクル品の回収実績

	回収率(前年)	回収重量	前年対比
商品案内	68%(71%)	3,116トン	96.8%
共同購入 	牛乳パック	94,620kg	95.4%
	卵パック	41,415kg	98.2%
	仕分け袋	39,018kg	121.3%
店 舗 	牛乳パック	23,854kg	94.8%
	卵パック	3,170kg	95.5%
	ペットボトル	32,080kg	107.3%
	ビン	56,856kg	106.4%
	缶	9,280kg	97.0%
	食品トレイ	20,068kg	100.8%
	乾電池	486kg	165.3%
蛍光管	1,327本	66.6%	

- ◎店頭や共同購入の配送時に積極的なリサイクルをすすめています。回収、再資源化しやすいよう、洗う、開く、乾かす、つぶす、重ねるなど、それぞれの回収方法を守り、リサイクルにご協力頂いています。
- ◎2010年1月から開始した、お店で使った廃食油のバイオディーゼル燃料への活用は、**1年間で25キロリットル**となり、**約21キロリットルのバイオディーゼル燃料**になりました。
- ◎大阪市レジ袋削減協定に伴う取り組みで、7月に市内3店舗で店頭イベントを行いました。店頭で、大阪市環境局、なにわエコ会議の方の協力を得て、キャンペーンの告知をしていただきました。